

福井県議会ブラジル訪問団報告書

(ブラジル日本移民 110 周年記念式典参加)

日 程 平成30年7月17日(火)～7月24日(火)

訪問地 ブラジル連邦共和国 サンパウロ州

福井県議会ブラジル訪問団

福井県議会副議長	鈴木 宏 紀
福井県議会議員	田 村 康 夫
福井県議会議員	畑 孝 幸
福井県議会議員	小 寺 惣 吉
福井県議会議員	細 川 かをり

(随行) 福井県議会事務局議事調査課長 松 山 哲 治
福井県議会事務局総務課総括主任 中 川 幸 一

福井県議会ブラジル訪問団日程
(ブラジル日本移民 110 周年記念式典参加)

月 日	日 程
7月17日(火)	福井発⇒小松空港発(11:00)⇒羽田空港着(12:10)(ANA754) 羽田空港発(14:05)⇒フランクフルト空港着(18:45)(LH506) フランクフルト空港発(22:05)⇒
7月18日(水)	⇒サンパウロ空港着(4:55)(LH506) 9:10～10:40 アルジャ市長・市議会表敬訪問、大安寺公園視察 11:00～11:50 アルジャ日本語学校訪問 14:00～15:00 とうもろこし加工・販売所視察 16:30～17:40 ジャパン・ハウス サンパウロ視察 19:45～21:50 ブラジル福井県文化協会主催歓迎会・研修生 OBとの懇談会 ＜サンパウロ市内泊＞
7月19日(木)	9:00～10:00 開拓先没者慰霊碑参拝 10:30～11:30 在サンパウロ日本総領事館訪問 12:00～12:50 サンパウロ州議会表敬訪問 午後 サントス市内へ移動 日本移民ブラジル上陸記念碑等視察 ＜サンパウロ市内泊＞
7月20日(金)	10:00～10:50 サンミゲル・アルカンジョ市長表敬訪問 11:00～15:00 福井村(コロニア・ピニャール)訪問 16:20～17:40 セーレン(SEIREN Produtos Automotivos Ltda) 視察 ＜サンパウロ市内泊＞
7月21日(土)	12:00～15:30 ブラジル日本移民110周年記念式典出席 16:30～17:30 ブラジル日本移民資料館視察 ＜サンパウロ市内泊＞
7月22日(日)	11:00～14:00 コオペルコチア・アスレチッククラブ視察 サンパウロ空港発(18:15)⇒
7月23日(月)	⇒フランクフルト空港着(10:45)(LH507) フランクフルト空港発(18:05)⇒
7月24日(火)	⇒羽田空港着(12:15)(LH716)、羽田空港発(15:55)⇒ 小松空港着(16:55)(JAL189)、小松空港発⇒福井着

※時間は現地時間

アルジャ市長・市議会表敬訪問

- 1 日 時 平成30年7月18日（水）9：10～10：40
- 2 場 所 アルジャ市庁舎（サンパウロ州）
- 3 参加者 〔福井県議会〕
鈴木宏紀副議長、田村康夫議員、畑孝幸議員、小寺惣吉議員、
細川かをり議員、松山議事調査課長、中川総務課総括主任
〔福井県〕
藤田穰副知事、吉川産業労働部企画幹、渡辺国際経済課主任
- 4 応対者 ジョゼ・ルイス・モンテイロ市長
ガブリエル・ドス・サントス市議会議員ほか議員3名 など
※議長は所用のため不在
- 5 同席者 ブラジル福井県文化協会（※福井県人会）
金兼文典会長、橋本巨太郎副会長、西川純子副会長 ほか

6 概 要

モンテイロ市長は、「今回の訪問に心から感謝する。110年前に日本から移ってきた人たちがブラジルの開発と発展に貢献してくれたことに感謝している。アルジャ市はブラジルのなかでも日本とのつながりが強い。福井には当市から研修生も派遣している。今後の日本とブラジルの交流促進にアルジャ市としても役割を果たしたい」とあいさつされた。

県議会訪問団を代表して、畑議員があいさつし、「ブラジル日本移民110周年記念式典の開催にあたり5名の議員で貴市を訪れた。市長にお会いできて感謝する。アルジャ市には、大安寺公園があることや、アルジャ日本語学校と大安寺小学校とが絵画の交流を行っていることなど、貴市と福井県の間が深い。市長が言われたように、日伯の交流が深まることを祈念する」と述べた。

また、市議会を代表してサントス議員が「私はPL教団がアルジャ市に作ったゴルフ場で働いていた。ブラジルでは日本人が仕事の場をつくってくれている。このことのようなことから日系人と交流するようになり、私の人格形成にも役立ち、議員になるに至った。これからも日本との交流を進めていきたい」とあいさつされた。



アルジャ市庁舎内にて市長、市議会議員4人とともに
前列右から3人目が市長



アルジャ市庁舎前にて

大安寺公園視察

アルジャ市長等を表敬した後、同市内の大安寺公園を視察した。

《大安寺公園の概要》

福井県農協5連会長などを歴任した故柳澤義孝氏（畑孝幸県議の父）が農協指導員のブラジル派遣研修を行うなど、技術交流に貢献したことを称えて1987年同地に建設され、柳澤氏の生まれ故郷である「大安寺」の地名を冠した。



アルジャ日本語学校訪問

- 1 日 時 平成30年7月18日（水）11:00～11:50
- 2 場 所 アルジャ日本語学校（サンパウロ州 アルジャ市）
- 3 参加者 〔福井県議会〕
鈴木宏紀副議長、田村康夫議員、畑孝幸議員、小寺惣吉議員、
細川かをり議員、松山議事調査課長、中川総務課総括主任
〔福井県〕
藤田穰副知事、吉川産業労働部企画幹、渡辺国際経済課主任
- 4 応対者 清原みどり校長 ほか
- 5 同席者 ブラジル福井県文化協会
金兼文典会長、橋本巨太郎副会長、西川純子副会長 ほか

6 概 要

清原校長から、学校の概要説明を受けた後、校内を案内していただいた。

学校は創立90年くらいで、生徒数は多いときには80人ほどいたが今は40人ほど。大安寺小学校とは1995年から交流が行われ、同小学校から送られた絵画が校舎内に掲示されている。

畑議員はあいさつの中で、この日本語学校との交流が始まってから、大安寺小学校の児童の世界観が変わった。今後も両校の交流を支援したい、などと述べた。



清原校長からの概要説明



大安寺小学校からの絵画



学校関係の皆さんとともに

とうもろこし加工・販売所視察

- 1 日 時 平成30年7月18日（水）14:00～15:00
- 2 場 所 RANCHO DA PAMONHA （サンタイザベル市）
- 3 参加者 〔福井県議会〕
鈴木宏紀副議長、田村康夫議員、畑孝幸議員、小寺惣吉議員、
細川かをり議員、松山議事調査課長、中川総務課総括主任
〔福井県〕
藤田穰副知事、吉川産業労働部企画幹、渡辺国際経済課主任
- 4 応対者 ホセ・クラウディオ・メンドーサ氏 ほか
- 5 同席者 ブラジル福井県文化協会
金兼文典会長、橋本巨太郎副会長、西川純子副会長、
野中エリザさかえ理事、柴田イナーシオ英夫理事

6 概 要

幹線道路に面して店舗が設置され、とうもろこしを加工した、ケーキ、ジュース、アイスクリーム、プリンなどのさまざまな商品が販売され、店内には飲食スペースも設けられている。

工場裏の加工施設内で、各種の設備を見学するとともに、原料から商品に加工する過程の説明を受けた。



加工・販売所の外観



加工施設内の見学

ジャパン・ハウス サンパウロ視察

- 1 日 時 平成30年7月18日（水）16：30～17：40
- 2 場 所 ジャパン・ハウス サンパウロ（サンパウロ市 パウリスタ通り）
- 3 参加者 〔福井県議会〕
鈴木宏紀副議長、田村康夫議員、畑孝幸議員、小寺惣吉議員、
細川かをり議員、松山議事調査課長、中川総務課総括主任
〔福井県〕
藤田穰副知事、吉川産業労働部企画幹、渡辺国際経済課主任
- 4 応対者 平田・アンジェラ・多美子 特別顧問(館長) ほか
- 5 同席者 ブラジル福井県文化協会
金兼文典会長、橋本巨太郎副会長、野中エリザさかえ理事、
柴田イナースイオ英夫理事

6 概 要

平田館長らの案内で、館内を視察した後、概要説明を受けた。

- ・2017年4月30日に、ジャパン・ハウスの第1号としてオープンした。
- ・ジャパン・ハウスは、日本の多様な魅力を発信する拠点として設置されるもので、その後、ロサンゼルス、ロンドンにオープンしている
- ・施設は目抜き通りであるパウリスタ通りに面しており、当日も多くの来館者でにぎわっていた。
- ・館内は3つのフロアで構成されており、1階は日本の伝統工芸品や最新の商品が展示され、購入もできる。「無印良品」が販売されていた。日本とほぼ同様の価格帯でブラジルの他の商品より割高にもかかわらず、人気商品であるとのこと。また約2000冊の日本に関する書籍類（館内閲覧用）も置かれており、和菓子などを提供するカフェで読むことができる。
2階にはFURSHIKI（風呂敷）ショップのほか、ワークショップなどができるセミナールームがあり、当日は、書の展示が行われていた。
3階には日本食レストランのほか展示スペースがあり、当日は「アロマ」の展示が行われていた。
- ・施設は既存の建物を改築して使用し、デザイン監修は建築家の隈健吾氏が担当し、総合プロデューサーは原研哉氏が務めている。
- ・開館から先月までに約92万人が来館。（当初の予想を大きく上回る）



概要説明 左から2人目が平田館長



施設正面



1階フロア（無印良品販売など）



2階フロア（FUROSHIKI ショップ）



3階フロア（アロマ展示）

ブラジル福井県文化協会主催歓迎会・研修生OBとの懇談会

- 1 日 時 平成30年7月18日（水）19：45～21：50
- 2 場 所 マツバラホテル（サンパウロ市）
- 3 参加者 〔福井県議会〕
鈴木宏紀副議長、田村康夫議員、畑孝幸議員、小寺惣吉議員、
細川かをり議員、松山議事調査課長、中川総務課総括主任
〔福井県〕
藤田穰副知事、吉川産業労働部企画幹、渡辺国際経済課主任
〔ブラジル福井県文化協会〕
金兼文典会長ほか協会員6名、研修生OB26名

4 概 要

最初に研修生OBとの懇談会が開催され、出席した海外技術研修員OB一人ひとりから、自己紹介と合わせて研修時の思い出や近況が報告された。

ほぼすべての人から、福井での研修は有意義だった、その研修があったから今の生活ができている、福井でのことは良い思い出ばかり、などという声が聞かれた。

続いて福井県文化協会主催歓迎会が開かれ、金兼会長が冒頭のあいさつで「皆さまの訪問を私たち一同心から歓迎する。一番大事なのは人と人とのつながり、交流であり、研修生が福井に行き、訪問団のみなさんがブラジルに来るというつながりがこれからも続くことを願っている」と述べられた。

鈴木副議長は「私たちをこのように温かく歓迎していただき心から感謝する。ブラジル福井県文化協会の金兼会長はじめ会員の皆さまの日頃の活動に深く敬意を表する。日本とブラジルとは距離が遠く離れているように感じていたが、文化協会の皆さまのご努力により、両国の経済・文化交流は親密な関係を築いていただいている。今後とも皆さまのお力をお借りして、ブラジルと福井の交流が深まることを期待する」と述べた。

訪問団はいくつかのテーブルに分かれ、県人会や研修生OBの人たちと和やかに懇談した。



県人会役員の皆さん
左から橋本副会長、金兼会長、柴田理事



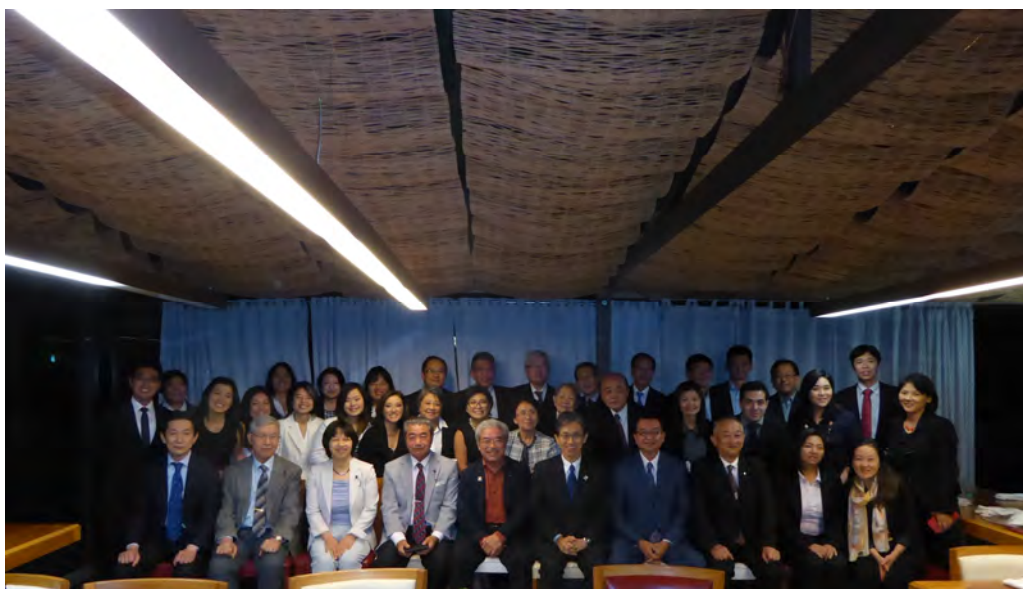
研修生OBからの発言



鈴木副議長あいさつ



記念品等の贈呈



福井県文化協会、研修生OBの皆さんとともに

開拓先没者慰霊碑参拝

- 1 日 時 平成30年7月19日（木） 9:00～10:00
- 2 場 所 イビラプエラ公園内（サンパウロ市）
- 3 参加者 〔福井県議会〕
鈴木宏紀副議長、田村康夫議員、畑孝幸議員、小寺惣吉議員、
細川かをり議員、松山議事調査課長、中川総務課総括主任
〔福井県〕
藤田穰副知事、吉川産業労働部企画幹、渡辺国際経済課主任
- 4 同行者 ブラジル福井県文化協会
金兼文典会長、橋本巨太郎副会長、柴田イナーシオ英夫理事 ほか
- 5 概 要
慰霊碑に参拝、献花（事前に供え）、参拝記録簿に記帳、慰霊碑の地下にある祭壇に
線香を手向け、先没者の方々のご冥福を祈念した。

（参考）慰霊碑の完成は1975年8月22日。黒御影石で田中角栄首相による「開拓
先没者慰霊碑」の碑銘が入っている。完成の序幕式には日本から福田赳夫副
総理らが出席して行われた。地下の霊安室には、平和観音像、物故者過去帳、
各県人会別の過去帳が収められた。また後に、日本から観世音菩薩と地藏尊
像が贈られた。
毎年6月には仏教の宗派を超えて法要が営まれるとのこと。



慰霊碑全景



慰霊碑参拝

在サンパウロ日本総領事館訪問

- 1 日 時 平成30年7月19日（木）10：30～11：30
- 2 場 所 在サンパウロ日本国総領事館（サンパウロ市 パウリスタ通り）
- 3 参加者 〔福井県議会〕
鈴木宏紀副議長、田村康夫議員、畑孝幸議員、小寺惣吉議員、
細川かをり議員、松山議事調査課長、中川総務課総括主任
〔福井県〕
藤田穰副知事、吉川産業労働部企画幹、渡辺国際経済課主任
- 4 応対者 楠 彰 首席領事 （※野口総領事は皇室対応のため不在）
- 5 同席者 ブラジル福井県文化協会
金兼文典会長、橋本巨太郎副会長、柴田イナマーシオ英夫理事 ほか

6 概 要

〔楠首席領事の主な発言〕

- ・ 日本政府が移住者を支援する時代は終わり、連携してやっていくという対等な関係になっている。
- ・ 移民当初、日系社会は差別を受けていた。その後日本の経済成長があって本国に誇りと自信を持つようになり、また日本の文化がすごいということで、若い人が誇りを強く持つようになっている。
- ・ JAPAN HOUSEは、最初の4年間は日本政府が資金を出す、いずれは独立採算で運営する予定であり、そこからが課題である。
- ・ 県人会からは県費留学生を増やしてほしいという要望を受けている。子供たちに日本に行かせて、自分の国を見せたいという気持ちが強いので、福井県としてもご配慮願いたい。
- ・ 日本が日系人に助けてもらう時代になっている。特に地方創生という点で、労働力不足をブラジルからの出稼ぎでまかなう必要が生じている。ただ、子供は学校で日本語をすぐに覚えるが、親は日本語を必ずしも必要としない生活をしているので、親と子の間でコミュニケーションがとれない問題があると聞く。

〔議員からの主な発言〕

- ・ 日系人のことを誇らしく思う。若い人がつないでいくよう政府の支援を願いたい。
- ・ 武生では小学校の半数以上がブラジル人という学級があり、親と子の言葉の壁による問題も既に生じはじめている。

サンパウロ州議会表敬訪問

- 1 日 時 平成30年7月19日（木）12:00～12:50
- 2 場 所 サンパウロ州議会庁舎（サンパウロ市）
- 3 参加者 〔福井県議会〕
鈴木宏紀副議長、田村康夫議員、畑孝幸議員、小寺惣吉議員、
細川かをり議員、松山議事調査課長、中川総務課総括主任
〔福井県〕
藤田穰副知事、吉川産業労働部企画幹、渡辺国際経済課主任
- 4 応対者 エリオ・ニシモト州議会議員 ほか
- 5 同席者 ブラジル福井県文化協会（※福井県人会）
金兼文典会長、橋本巨太郎副会長、柴田イナーシオ英夫理事 ほか

6 概 要

州議会庁舎1階玄関ロビーにて、ニシモト議員および議員秘書などの出迎えを受けあいさつを交わした後、意見交換を行った。意見交換の後、本会議場を見学した。

〔ニシモト議員のあいさつ要旨〕

福井から来られた方々を歓迎する。我々にとって福井は大事なパートナーである。ブラジルの経済が良くなかった頃から、福井で技術研修員を受け入れてもらったことが、ひいてはブラジルの経済発展にもつながった。そういう意味からも福井を兄弟のように思い感謝している。

州議会として訪問団の皆さまの日本移民110周年の訪問を手助けすることはもちろん、何か必要なことがあれば対応したい。

懇談の中で、ニシモト議員は、各務原市の航空関連の企業を訪れた経験があることが紹介されたり、福井の主要産業（繊維、眼鏡）、議会の規模や女性議員の数などが話題となった。

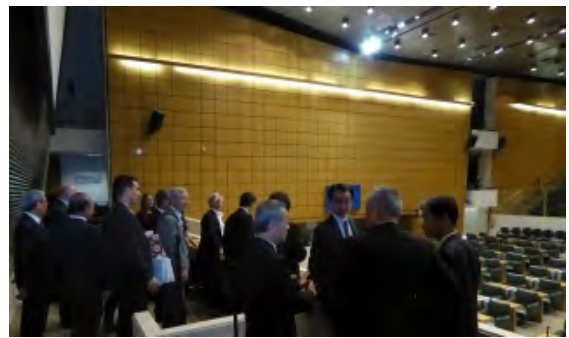
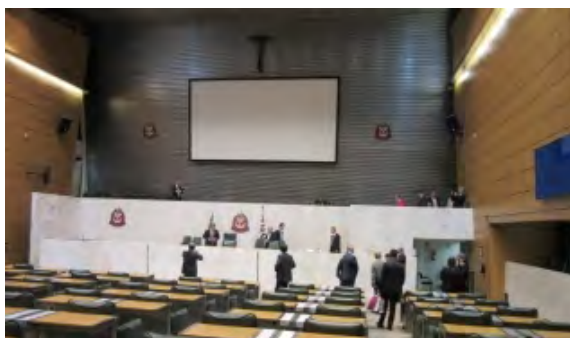
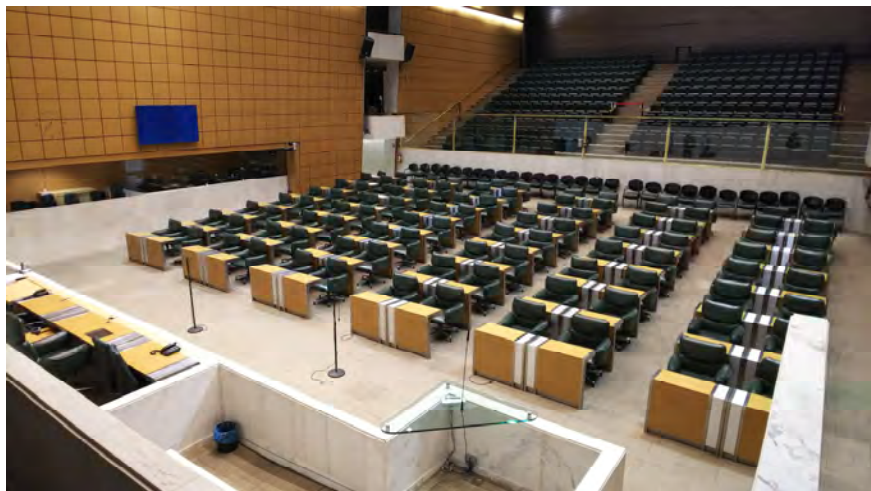


州議会庁舎内にて 左から3人目がニシモト議員



ニシモト議員との懇談

《本会議場の見学》



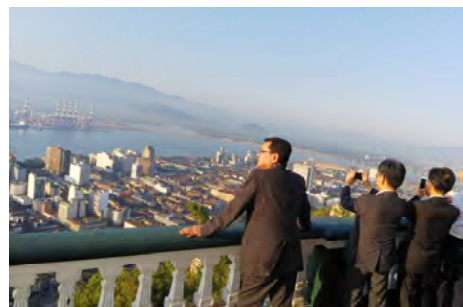
サントス市内見学

- 1 日 時 平成30年7月19日（木）14：00～18：00
- 2 参加者 〔福井県議会〕
鈴木宏紀副議長、田村康夫議員、畑孝幸議員、小寺惣吉議員、
細川かをり議員、松山議事調査課長、中川総務課総括主任
〔福井県〕
藤田穰副知事、吉川産業労働部企画幹、渡辺国際経済課主任
- 3 同席者 ブラジル福井県文化協会（※福井県人会）
金兼文典会長、橋本巨太郎副会長、柴田イナリーシオ英夫理事 ほか

4 概 要

（1）モンチ・セハーの丘

サントス市街を一望できる小高い丘の上から、移民船で上陸した頃のサントスの町や港の様子、上陸から入植までに滞在していたことなどについて、県人会の人から話を伺った。



（2）旧コーヒー取引所（現コーヒー博物館）見学

19世紀から20世紀にかけて、コーヒーの取引を中央化し、相場を決めていた施設を見学し、当時の様子について県人会の人から話を伺った。



博物館正面入り口



博物館内部

(3) 日本移民ブラジル上陸記念碑見学（エミサリオ・スプマリーノ公園内）

1908 年 6 月 18 日に第 1 回ブラジル日本移民が笠戸丸でサントス港に上陸して以来、1973 年の最後の移民船まで約 24 万人の日本人移民が上陸した。

記念碑は 1998 年にサントス・ボケロン海岸に建立され、橋本龍太郎元首相が揮毫した。その後 2009 年に現公園内に移設された。



記念碑にて

サンミゲル・アルカンジヨ市長表敬訪問

- 1 日 時 平成30年7月20日（金）10：00～10：50
- 2 場 所 サンミゲル・アルカンジヨ市庁舎（サンパウロ州）
- 3 参加者 〔福井県議会〕
鈴木宏紀副議長、田村康夫議員、畑孝幸議員、小寺惣吉議員、
細川かをり議員、松山議事調査課長、中川総務課総括主任
〔福井県〕
藤田穰副知事、吉川産業労働部企画幹、渡辺国際経済課主任
- 4 応対者 パウロ・リカルド・ダ・シルバ市長 ほか
- 5 同席者 ブラジル福井県文化協会
金兼文典会長、橋本巨太郎副会長、西川修治相談役 ほか

6 概 要

福井村に着き、武生公園を視察しているところに市長が来られてあいさつを交わした後、市庁舎で懇談した。

パウロ・リカルド・ダ・シルバ市長は、市議会議員を4期務めた後市長に就任し、現在2年目、前の市長は日系人であったとのこと。

市長からは「福井の皆さんが来てくれてうれしく思う。サンミゲル市は福井村ができて栄え、農業生産が高まって有名になった町である。福井村の人は苦勞も多いと思うが、産業のために一生懸命やってもらっていることに感謝している。福井との交流は続けていきたい。いつでもこちらに来ていただきたい。私も来年、福井に行きたいと考えている」とのあいさつがあった。

鈴木副議長はあいさつの中で「今回ブラジル日本移民110周年記念式典の開催にあたり、ブラジルを訪れた。せっかくの機会なので、ぜひパウロ・リカルド・ダ・シルバ市長にお会いしたいと思っていたところ、ご多用のところ対応していただきありがとうございます。サンミゲル・アルカンジヨ市にはコロニア・ピニャールがあり、福井とは近い関係にある。また、小寺議員がPTA会長をしていた高椋小学校と日本語学校とは20年以上にわたり交流を続けている。日本に『継続は力なり』ということわざがある。これからも長く交流を続けることで、経済・文化・スポーツなどさまざまな分野で交流を深めていくことを願っている」と述べた。

議員からは、越前市の小学校では、日本の子もブラジルの子も同じ教室で勉強しており、半分以上がブラジル人という学級もあることが紹介された。

また、市の年間予算額を質問したところ、市長から約7千万レアルであるとの回答があった。



武生公園にて
左から4人目がシルバ市長



武生公園にて



市庁舎外観



市庁舎にて懇談（中央：市長）

福井村（コロニア・ピニャール）訪問

- 1 日 時 平成30年7月20日（金）11：00～15：00
- 2 場 所 福井村（コロニア・ピニャール）、日本語モデル校（福井村内）等
- 3 参加者 〔福井県議会〕
鈴木宏紀副議長、田村康夫議員、畑孝幸議員、小寺惣吉議員、
細川かをり議員、松山議事調査課長、中川総務課総括主任
〔福井県〕
藤田穰副知事、吉川産業労働部企画幹、渡辺国際経済課主任
- 4 同席者 ・コロニアピニャール文化体育協会（福井村）
西川修治会長をはじめ福井村のみなさん約70名
・ブラジル福井県文化協会
金兼文典会長、橋本巨太郎副会長
・サンミゲル・アルカンジョ市
パウロ・リカルド・ダ・シルバ市長

5 概 要

コロニア・ピニャール（通称：福井村）に到着し、村内にある日本語モデル校やグラウンドなどの施設を見学した後、同村主催の歓迎会に出席した。

歓迎会では、西川修治会長から「福井からの来訪を心から歓迎する。福井村は今年で入植56年目になる。優秀な後継者も育っており、中には福井で研修を受けたときに世話になった者もいる。私たちは常に日本移民の誇りを持って、ブラジルの発展を担い、地域農業に貢献すべく努力しているので、今後とも皆さまのご指導とご支援をお願いしたい」とのあいさつがあった。

鈴木副議長はあいさつの中で「福井村を訪問することができてたいへんうれしく思っている。本日は盛大な歓迎会を開催していただき心から感謝申し上げる。皆さまが日本に対する思いと日本人としてのアイデンティティをしっかりとっておられることに感銘を受けた。皆さまと長くおつきあいをさせていただきたい。福井村のますますの発展と日本とブラジルの交流がさらに進展することを願う」と述べた。

歓迎会では福井村の子供の和太鼓グループ「飛翔太鼓」による演奏が披露された。歓迎会終了後は、副議長と議員4人および副知事による桜の苗木の記念植樹が行われた。さらに、山下治氏が経営する農園を見学させていただき、福井村をあとにした。



日本語モデル校で生徒らの出迎え



日本語モデル校玄関にて



日本語モデル校内



日本語モデル校内



歓迎会場前での出迎え



歓迎会場前での出迎え



歓迎会



西川会長あいさつ



鈴木副議長あいさつ



飛翔太鼓演奏



飛翔太鼓の子どもたちとともに



記念植樹



福井村の皆さんとともに

セーレン (SEIREN Produtos Automotivos Ltda.) 視察

- 1 日 時 平成30年7月20日(金) 16:20~17:40
- 2 場 所 セーレン・オートモーティブ社(サンパウロ州 ボトランティン市)
- 3 参加者 [福井県議会]
鈴木宏紀副議長、田村康夫議員、畑孝幸議員、小寺惣吉議員、
細川かをり議員、松山議事調査課長、中川総務課総括主任
[福井県]
藤田穰副知事、吉川産業労働部企画幹、渡辺国際経済課主任
- 4 応対者 小寺 勇司 Director Presidente(社長) ほか
- 5 同席者 ブラジル福井県文化協会
金兼文典会長、橋本巨太郎副会長、西川修治相談役 ほか

6 概 要

会社の概要説明を受け、現地スタッフの案内で工場を見学した後、意見交換を行った。

[会社の概要]

- ・セーレンは、自動車の室内装飾材の総合メーカーとして、製品の企画・製造・販売を行っており、自動車用シート材ではトップクラスのシェアを占める。
- ・自動車内装材としては、ファブリック、合成皮革、機能性シートなどに加えて、本革を超える新素材として開発した「QUORE」(クオーレ)製品が高い評価を得ている。
- ・ビスコテックスの技術を生かして、パーソナルオーダーの製品供給を実現している。
- ・同社(ブラジル工場)は操業1997年で今年21年目。従業員が67人で、年間売上げが3千7百万レアル。製品の供給先は主としてトヨタで、次いでホンダ、ニッサン。

[工場の概要]

- ・工場は大きく2つに分かれ、旧工場、新工場と呼ばれている。
- ・糸から織り、編みの工程で繊維生地 of 製造するところから、縫製、染色、最終製品の製造、検査まで一貫通した工程で稼働している。
- ・検査工程の後、さらに「ラボ」で感触や風合いなどを点検したうえで出荷している。

〔質疑応答・意見交換〕

議員：染色をやっていると環境基準があると思うがその点はどうか。

セーレン：水は使うので排水も出る。国の基準に適合した排水を行っている。

議員：カーシートだと耐光が重要だと思うが、試験はどのようにしているのか。

セーレン：紫外線を当てて変色がないか試験する。

議員：北陸新幹線の車両にも貴社の製品が使われていると聞いたが、どのようなところに使われているのか。

セーレン：グランクラスのシートや室内の内装材に使われている。

議員：海外進出の際に、州政府との関係では、協力的だったか、あるいは摩擦などはなかったか。

セーレン：おそらく歓迎されていたと思う。ただ、こちらは税金が高いのと、労働者が保護されているので訴訟が多い。ストライキも多く、物流が10日ほど止まることがある。



概要説明（製品見本）



概要説明



工場玄関にて



工場内の見学

ブラジル日本移民 110 周年記念式典出席

- 1 日 時 平成30年7月21日（土）12：00～15：30
- 2 場 所 サンパウロ・エキスポセンター（サンパウロ市）
- 3 参加者 〔福井県議会〕
鈴木宏紀副議長、田村康夫議員、畑孝幸議員、小寺惣吉議員、
細川かをり議員、松山議事調査課長、中川総務課総括主任
〔福井県〕
藤田穰副知事、吉川産業労働部企画幹、渡辺国際経済課主任
- 4 同席者 ブラジル福井県文化協会
金兼文典会長、橋本巨太郎副会長、西川修治相談役 ほか
- 5 概 要

会場は5,000人収容のホールで、アリーナでは数々のアトラクションが披露された。記念芸能ショー「結——次世代に繋ぐ未来への架け橋」で開幕し、和太鼓、琉球国祭り太鼓、鳥取傘踊り、長崎の龍踊り、獅子舞などが披露された。

正午から記念式典が挙行され、日本からは眞子内親王をはじめ、知事5人、副知事7人、県議会議員9人、副議長3人などが出席した。（※現地メディアの情報）

海軍軍楽隊の演奏により、全伯27州旗、日本の47都道府県旗が入場し、山田康夫県連会長、呉屋春美祭典委員長の主催者あいさつに続き、駐日ブラジル大使（外務大臣代理）、サンパウロ州知事、サンパウロ市長が来賓のあいさつを行い、最後に眞子内親王がお言葉を述べられた。

〔眞子内親王のお言葉〕

1908年6月に最初の移民船「笠戸丸」で入植して以来、110周年の記念式典が行われることをお喜びするとともに、各地からお集りの皆さまとともに祝うことをうれしく思います。

私にとってブラジルは、幼い頃より地理的には遠くても親しみを感じる国でした。それはこれまでブラジルを訪れた方々から、その思い出を幾度となく伺ってきたことによるものであると思います。そして今回、3年前に私の両親も訪問したこのサンパウロを訪れることができましたことは大きな喜びでございます。

私はブラジルに到着して以来、リオデジャネイロ、パラノ州を巡り、本日サンパウロに入りました。式典の後は「日本まつり」を視察させていただく予定です。日系社会の人たちが架け橋となり、日本文化がブラジルで受け入れられていること

をうれしく思います。

日本から長い船旅を経て移住された方は、たいへんな苦勞をされてこられた。移住者とそのご子孫が、努力と勤勉さをもって今日の日系社会とブラジルの発展に寄与し、さまざまな分野で活躍されていることに敬意を表しますとともに、移民を受け入れ、ご支援いただいたブラジル政府とブラジル国民に感謝します。

皆さまが歩んでこられた長い道のりに思いを馳せるとともに、その歴史が未来にも大切に引き継がれていくことを願っております。

終わりに、ご列席の皆さまの発展と日系社会およびブラジルの繁栄、両国の交流の進展を願っております。

式典終了後、アリーナでは芸能ショーの第2部が行われた。日本からの来賓等は眞子内親王との昼食会に招かれ、鈴木宏紀副議長も出席した。

この後、鈴木副議長はじめ本県からの訪問団は、日本祭り会場内にある福井県人会が出展しているブースを見学するなどして会場をあとにした。



記念式典ステージ



アトラクション



記念式典会場外にて



福井県人会の出展ブース

ブラジル日本移民史料館視察

- 1 日 時 平成30年7月21日（土）16：30～17：30
- 2 場 所 ブラジル日本文化福祉協会ビル7F～9F（サンパウロ市）
- 3 参加者 〔福井県議会〕
鈴木宏紀副議長、田村康夫議員、畑孝幸議員、小寺惣吉議員、
細川かをり議員、松山議事調査課長、中川総務課総括主任
- 4 応対者 江口 久枝 運営委員会員
- 5 同席者 ブラジル福井県文化協会
金兼文典会長、橋本巨太郎副会長、西川修治相談役
- 6 概 要

運営委員会員の江口氏（福岡出身）の案内で、館内の展示品や移民の歴史などについて説明を受けた。

同館は1978年6月18日、ブラジル日本移民70周年記念日に開館。当初は7階と8階を展示場としていたが、2000年11月に屋上だったところを9階展示場として新たに開設したとのこと。

7階の展示場には、移民到着前の歴史からコーヒー園での労働、植民地「コロニア」の形成、農産物の拡大の歴史などが紹介されている。

8階の展示場には、日本移民による工業活動の始まり、第2次世界大戦の時期の移民を取り巻く情勢、戦後の新たな移住者の到着、日本企業の進出などが紹介されている。

9階の展示場には、日本とブラジルの各分野での交流について紹介されているほか、天皇皇后両陛下の肖像画や東郷青児作の壁画「移民開拓風景」が展示されている。



7階展示



9階展示

コオペルコチア・アスレチッククラブ訪問

- 1 日 時 平成30年7月22日（日）11:00～14:00
- 2 場 所 コオペルコチア・クラブ施設（サンパウロ市）
- 3 参加者 〔福井県議会〕
鈴木宏紀副議長、田村康夫議員、畑孝幸議員、小寺惣吉議員、
細川かをり議員、松山議事調査課長、中川総務課総括主任
- 4 応対者 パウロ・大谷 氏
カルロス・ヒロシ・フジイ Director Presidente ほか
- 5 同席者 ブラジル福井県文化協会
金兼文典会長、橋本巨太郎副会長、西川修治相談役

6 概 要

クラブハウス内で、同クラブの概要説明を受け、クラブ内の各施設（テニスコート、プール、サッカー場、グランドゴルフ場、野球場等）を見学した。

グランドゴルフ場では、約30人の日系会員の皆さんと交流した。

〔クラブの概要〕

- ・1942年7月18日に「コチア産業組合」（※日系ブラジル版農協）の会員制スポーツクラブとして設立された。10年ほど前に同クラブが経営破たんした後、会員で運営するクラブとして存続している。
- ・会員家族数は約1,200で、会費は日本円で月額1万円。



施設正面にて



概要説明



サッカー場にて



グランドゴルフ場での交流